

## 兵庫県立三木北高等学校 3 学期始業式式辞

### 「社会を変えるお金の使い方」

2020 年 1 月 9 日 校長 吉田尚美

今日から 3 学期が始まりました。3 学期始業式式辞のテーマは「お金の使い方」です。

お金の使い方といえば、寄付しなさいとか、無駄遣いせずに、貯金しなさいとか言われます。寄付は被災地支援などのように限定された目的がある場合、直接お金を届けられるので特に有効です。しかし、本校が推進している SDG s 持続可能な開発目標の 4 番目「質の高い教育をみんなに」を達成するため、世界中の子ども達全員に 1 年間初等教育を受けさせるのに必要な追加予算は 1 兆 2 千億円です。その金額は寄付で集めるには膨大すぎます。

けれども、世界がやる気になれば可能な金額です。なぜなら 1 兆 2 千億円は、世界の軍事費の 4 日分です。世界が 4 日間戦争をやめれば世界中の子ども達に初等教育を受けさせることができます。

貯金はどうでしょう。貯金をすると、銀行は預けたお金を運用して利息をつけてくれます。しかし、銀行がどこに投資して利息を付けているかはよくわかりません。もしかしたら軍需産業に投資して儲けたお金を利息にしているかもしれません。

ですから今日の話は寄付や貯金ではなく、社会を変えるための日々の買い物についてです。

例えば皆さんがメロンを買いに行くとします。甘さも大きさも同じくらいのメロンが A 店では 3000 円、B 店では 2000 円で売られている。普通は B 店で買いますね。でも、B 店のメロンは、ベトナム人を安い賃金で過酷な労働をさせて栽培したメロンだとしたらどうでしょう。みなさんが B 店のメロンを買うことは、B 店の行っていることを認めて応援することになり、適切な賃金を払っている A 店をつぶすことになるかもしれません。

こんな話があります、1997 年ナイキは、インドネシアやベトナムで、子どもたちを劣悪な環境で長時間、低賃金で働かせていることがアメリカの NGO の告発により発覚しました。世界的な不買運動が起こり、ナイキは労働条件を改善し、現在は SDG s を積極的に推進する企業に生まれ変わりました。

例えばみなさんが将来、投資をして儲けようと考え、株を買うとします。普通、株は株価が上がることで利益を得ますが、軍需産業の株を買えば、軍需産業を、太陽光発電の会社の株を買えば太陽光発電を応援することになります。つまり、ただ、安く手に入れたい、お金を儲けたいだけを考えると、知らないうちに世界を、自分の望まない方向に向かわせているかもしれないということです。

何かを買うということは、その商品を作っている企業を、売っている店を認め、応援することです。言い換えれば買い物をするたびに企業に賛成の投票をしているようなものです。ですから、社会をよい方向に向かわせようと思うなら、ただ、儲かるからとか、安いからという考え方だけで買い物をするのはよくありません。人と環境の三木北高校は SDG s 持続可能な開発目標を推進しています。これから買い物をするときは、その商品がどのようにして作られ、売られているのかを考えながら買ってください。そうして、皆さんの日々の買い物をとおして、よりよい社会を作っていくてください。